

未来に向けた新たな基準／CO₂削減を実現する OVOL 日本紙パルプ商事グループの段ボール原紙



OVOL 日本紙パルプ商事グループは
段ボールケース製造時の CO₂ 削減に取り組めます。

OVOL

日本紙パルプ商事株式会社

今、私たちが取り組むべき課題

段ボール原紙はその製造過程で、 一定量の CO₂を排出しています

製品 1t 当たりの CO₂排出量(業界平均) ※2022 年度実績

ライナー原紙

681kg

中芯原紙

480kg

※「原料調達段階」「生産段階」を対象範囲としてCO₂排出量を算出

※算定に使用したCO₂排出係数

①燃料(石炭、重油、ガス等)の燃焼によるCO₂排出係数及び購入電力のCO₂排出係数は、環境省の温室効果ガス排出算定の最新データを使用

②製品のCO₂排出係数は原則としてIDEA(Ver.3.2)に記載されているデータを使用

③原料調達段階の原料等の「輸送」に関わるCO₂排出係数はIDEA(Ver.3.2)のデータを使用

Our Mission グループの使命

OVOL

社会と地球環境のよりよい未来を拓きます。

私たち日本紙パルプ商事グループは、既存事業を礎に主力事業の変革やグループの構造転換、新規分野に挑戦しています。そのグループの方向性をステークホルダーの皆様と共有し、業態や人材の多様化が進展するグループ役職員の一体感を高め、グループ成長戦略をより加速していくため、グループブランドの「OVOL (オヴォール)」のもと、新たなステージに向けて踏み出しています。

OVOL 日本紙パルプ商事グループのエコペーパーJPと大豊製紙の2社は、いち早くバイオマス発電を導入し、CO₂ 排出量削減を実現してまいりました。

製品 1t 当たりの CO₂排出量

エコペーパー JP 2022 年度実績

178kg

大豊製紙 2022 年度実績

428kg

カーボンニュートラル実現にむけて、 さらなる取り組みを実施しています！

2050年カーボンニュートラルの実現に貢献すべく 水力発電由来のグリーン電力を導入

Contribution to Society

電気料金の支払いを
通じて再エネ
普及拡大に貢献



愛知 
Greenでんき

ぎふ清流 
Greenでんき

売上の一部を
再エネ電源
開発等に投資



Energy Development

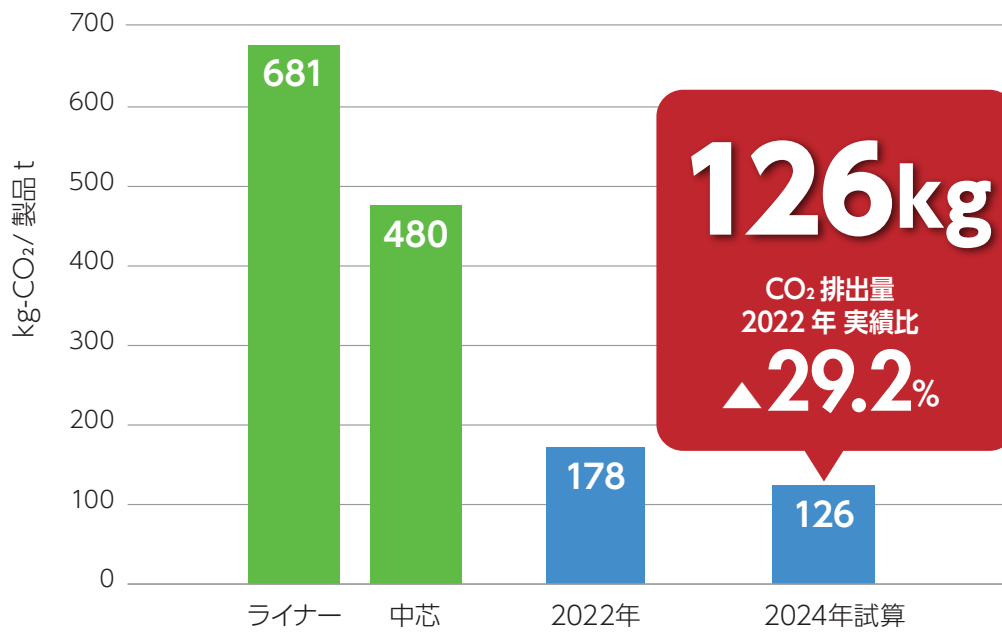
従来のバイオマス発電とグリーン電力導入による
取り組みが、段ボールケース製造時の
CO₂排出量を減らす確かな一歩に

CO₂削減の成果は？ 具体的な数値と取り組みを中面で詳しく！



株式
会社

エコペーパーJP ×



製紙業界平均

2023年2月日本製紙連合会発表

エコペーパーJP

中芯1t当たりのCO₂ 排出量の算定値

※「原料調達段階」「生産段階」を対象範囲としてCO₂ 排出量を算出

※算定に使用したCO₂ 排出係数

①燃料(石炭、重油、ガス等)の燃焼及び購入電力のCO₂ 排出係数は、環境省の温室効果ガス排出算定の最新データを使用

②製品のCO₂ 排出係数は、「IDEA v3.1.0を使用」

③原料調達の輸送の係数については、「紙・板紙のPCR 日本製紙連合会 附属書E(参考) 木質及び古紙原料調達のシナリオ」

バイオマスボイラーでの自家発電に加え、水力発電由来の「愛知 Green でんき」を購入し、CO₂排出量を大幅に削減。

2023年12月より、購入電力の50%を「愛知Greenでんき」にしています。その結果、2024年度の生産によるCO₂排出量原単位は、2022年度比で約29.2%削減される見込みです。また、再エネの地産地消、地域の再エネの普及拡大、これらの活動を通じた地域の経済循環の実現に貢献しています。

株式会社エコペーパー JP



■ 所在地 本社：〒488-0031 愛知県尾張旭市晴丘町東82番地1

TEL 0561-53-3315(代表)

東京営業所：〒104-8656 東京都中央区勝どき三丁目12番1号

フォアフロントタワー TEL 03-5548-4278(代表)

■ 設立：2008年12月10日

■ 主な事業内容：印刷用紙・段ボール原紙の製造販売、機密文書の溶解処理

■ 認証取得：ISO14001、ISO27001、FSC®C132899



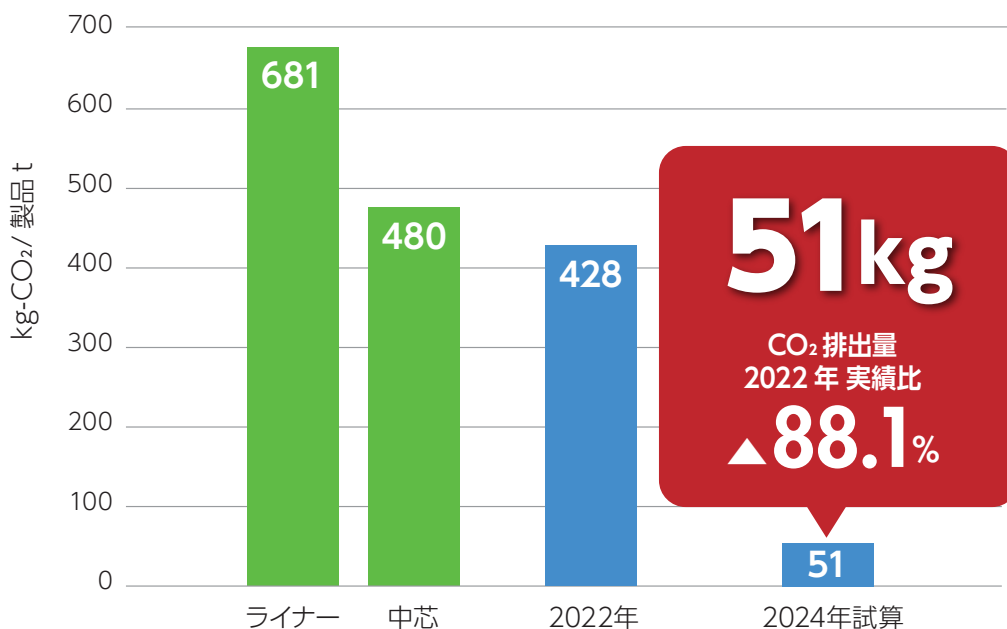


TAIHO PAPER

大豊製紙株式会社



ぎふ清流
Greenでんき



製紙業界平均

2023年2月日本製紙連合会発表

大豊製紙

製品1t当たりのCO₂排出量の算定値

※「原料調達段階」「生産段階」を対象範囲としてCO₂排出量を算出

※算定に使用したCO₂排出係数

①燃料(石炭、重油、ガス等)の燃焼及び購入電力のCO₂排出係数は、環境省の温室効果ガス排出算定の最新データを使用

②薬品のCO₂排出係数は原則として環境省DB(Ver3.3)に記載されているデータを使用

③原料調達段階の原料等の「輸送」に関わるCO₂排出係数は環境省DB(Ver3.3)のデータを使用

従来のバイオマス発電に加え、水力発電由来の「ぎふ清流 Green でんき」を導入し、CO₂排出量を大幅に削減。

関連会社の川辺バイオマス発電株式会社からの電力・蒸気を使用し、CO₂排出量削減に取り組んでおりますが、さらに2024年に購入する電力を岐阜県内の水力由来の電力「ぎふ清流Greenでんき」に切り替え、工場・事務所内使用電力の100%再エネ化を実現しました。

大豊製紙株式会社



- 本社所在地: 〒509-0302 岐阜県加茂郡川辺町上川辺252-1
TEL 0574-53-2626(代表)
- 設立: 1960年2月
- 主な事業内容: 段ボール原紙の製造販売、機密文書の溶解処理
- 関連会社: 川辺バイオマス発電株式会社
- 認証取得: ISO14001、ISO27001



紙、そしてその向こうに

Paper, and beyond

紙は、環境に優しいサステナブルな素材です。その紙を扱ってきた私たちも、紙を販売するだけにとどまらず、古紙回収やリサイクルなど循環型ビジネスに取り組んできました。公害が社会問題化した1970年代には、早くも古紙再資源化事業に本格参入。現在では、再生家庭紙国内トップシェアを誇るコアレックスグループを中心に、古紙を原料に使用する段ボール原紙や印刷用紙などの製造事業にまで進出しています。さらに、廃プラスチックの再資源化のほか、太陽光や木質バイオマスといった再生可能エネルギーによる発電など、事業を多角化。さまざまな面から社会・環境負荷の軽減に貢献しています。私たちは、紙に関連した事業分野を中心に、これからも循環型社会の構築にチャレンジしていきます。それは、紙を扱い、「Paper, and beyond」を追求する私たちの使命です。

数字で見る OVOL 日本紙パルプ商事グループ (2024 年 3 月 31 日現在)

あゆみと基盤

1845年の創業以来、紙の卸売を中心に事業の多角化を図ってまいりました。紙の限らない可能性を追求し、新たな価値の創出に挑戦しています。

■ 創業・事業継続年数

179 年

■ 東証上場(1972年)以降
黒字継続(経常利益)

52 年

■ グループ会社

127 社

連結業績

多角化してきた各セグメントの充実を図るとともに、既存事業との相乗効果の創出に取り組み、グループ内外の機能やサービスなどの提供価値を高め安定した収益基盤を構築しています。

■ 売上収益

5,342 億円

■ 経常利益

168 億円

■ 当期純利益

104 億円

環境関連事業

古紙再資源化をはじめとするリサイクル事業や再生可能エネルギーによる発電事業などの環境関連事業を展開し、持続可能な社会と地球環境への貢献を目指します。

■ 環境原材料セグメントの
売上収益

236 億円

■ 古紙を原料とした
製造拠点

6 カ所

■ 再生可能エネルギー
関連事業拠点

再生可能エネルギーによる発電拠点3カ所
PKS(アブラヤシの果の種殻)在庫拠点3カ所

6 カ所

■ リサイクル事業拠点

古紙ヤード26カ所
総合リサイクル事業拠点1カ所

27 カ所

日本紙パルプ商事株式会社

- 本社所在地 〒104-8656 東京都中央区勝どき三丁目12番1号 フォアフロントタワー
- 電話番号 TEL 03-3534-8522(代表)
- 設立 1916年12月15日
- 主な事業内容 当社および当社グループを通じた、紙、板紙、パルプ、古紙、紙二次加工品、その他関連製品の売買および製造、廃棄物のリサイクル、発電および電気の供給・売買、ITシステムの開発、不動産賃貸
- 国内拠点 関西支社、関西支社京都営業部、中部支社、九州支社、北日本支社東北営業部、北日本支社北海道営業部

お問い合わせ先

